

Gikai

第122号

2024年4月25日

発行

Kamifurano

かみふるの 議会だより

令和6年度執行方針

町長・教育長に政策を問う

新こどもセンター運用開始

3月定例会 10名の一般質問

ラベンダーフェスタ・ジオパーク
どのように活用するのか

我が町の災害への備えは など

令和6年度予算特別委員会

各議員の注目事業はこれだ!!

乗合タクシー

町内一律200円に など

野西小学校



今号の表紙写真

元気に登校する西小学校の児童たち

新学期が始まりました

執行方針概要

利用者ニーズに即したサービスを行い、自立支援や介護サービスを必要とする方々に広く利用して頂き、利用率の向上を図り健全経営に努める。

Q. 今後の見通しとして、今年度の運営についてはどのようなめどを立てているのか。



金子議員

A. 町長 民間では出来ない分野も公設公営で、しっかりと支えていく。

執行方針概要

豊かな四季の恵みを生かし、ラベンダーフェスタ等の四季彩イベントにより、町内の活力増進と、町外からの誘客促進につながるよう実施していく。



米澤議員

Q. 上富良野町の魅力を発掘しブランドを育成する、地元の資源を生かした道の駅など、町外から多くの人に来てもらい、それを提供するということ、うな仕組みづくりが非常に大事かと思うが。

A. 町長 地場産品を買える所はないというふうなところから考えている。地域高規格道路のルートが間もなく決まることとしており、それに合わせて決まったら早速動くような情報収集していく。

観光振興

ラベンダーハイツ

方針を問う！！

ゼロカーボン

執行方針概要

防災ブックの活用を推進し、避難経路、避難場所の再確認を行い、出前講座や十勝岳ジオパーク、防災教育、自主防災組織と連携し、町民の防災に関する知識・意識の醸成を促す。

Q. 能登半島地震を目的の当たりにされ、災害時の広域連携の在り方、対応等を含め復旧のシミュレーションなど、町長自身の意識・気持ちに変化はあったか。



佐藤議員

A. 町長 町民の避難、住民の生命が一番優先すべきものだとして再認識している。

執行方針概要

環境保全意識の醸成を図り、町も1事業所として、第2期上富良野町地球温暖化対策実行計画に基づき、その取組に努めていく。



北條議員

Q. 公用車は、将来的にどう考えているのか。全て電気自動車にするのか。施設照明のLED化は、何年度を目標にするのか。

A. 町長 令和5年度に公用の電気自動車をこどもセンター等に2台導入した。バッテリーの問題や航続距離など、北海道での冬はどうなのかを検証し、重機等も含め検討していく。LED化は早期に取り組まなければと考えている。

執行方針概要

定住移住促進については、ワンストップ窓口を継続し、ホームページ・SNSで情報提供を行い、民間賃貸住宅等をシーズンステイ住宅として活用していく。

Q. 地域おこし協力隊の方々も、家を探すのに苦労したという話も聞く。移住者に向けての住居の情報提供についての考えは。



茶谷議員

A. 町長 シーズンステイなど、短い期間であれば町も取り組んでいる。民間のアパートなどがたくさんあるため、そこへ誘導できればと考えている。

定住移住促進

執行方針概要

第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、住みなれた地域で支え合い、安心して暮らし続ける地域社会の実現に取り組む。



島田議員

Q. 介護支援サービスに関して、予算がつきにくく、受益者が負担しなければならぬ。後期高齢者への支援は。

A. 町長 個人の要求のレベルというのがあるが、町としては、いろいろやっている。費用負担についても十分考慮しながら、継続してやっていきたいと考えている。

高齢者支援

町政・教育執行

執行方針概要

農家戸数の減少、農業従事者の高齢化、担い手確保のため地域おこし協力隊員を配置し、将来の担い手として、定着する取組を進める。

Q. 特産農産物支援隊員は、上富良野町で就農を目指して来ている。農業には先ず農地が必要であると考えが。



井村議員

A. 町長 3年の任期終わった後に、まちの基幹産業である農業に1つの経営体としての希望があるのであれば、関係機関と力を合わせ、農地の問題を考えていく。

地域おこし協力隊

執行方針概要

新こどもセンターは、子育て支援班、子育て支援拠点事業、発達支援事業を集約し、相談・療育支援等を一体的に取り組んでいく。



小林議員

Q. 新年度から、子どもセンターをこども未来班へ名称変更し運用していくが、名称変更には何か思いがあるのか。

A. 町長 こどもセンターの中に、旧子どもセンターの名称を変更して、こども未来班と子育て支援班の二つになる。こどもセンターという言葉が重複してしまつたため名称変更した。

子育て支援

次ページへ続く

執行方針概要

男女共同参画を促し各種審議会・地域団体などに女性役員登用を働きかけ、女性がより一層活躍できる環境づくりを進める。

Q. 町の各種審議会などに女性を積極的に登用するとともに、地域や団体に女性役員登用について働きかけ、女性がより一層活躍できる環境づくりを進めるとあるが、具体的な方策は。



湯川議員

A. 町長 女性の持つ能力を遺憾なく発揮してもらう社会の実現のためにも、PR活動を積極的に進めていきたい。

執行方針概要

インバウンド需要の喚起と掘り起こしを進め、あわせて観光客による農地への立入りや路上駐車車の解消に努めていく。



中瀬議員

Q. ジェットコースターの路には、駐車禁止・道路上での撮影禁止という看板を立ててあるが効果がない。具体的な対策は。

A. 町長 別の方法で中長期的に改善が見られない場合、観光客による農作業等に支障が生じる様であれば中期的な解決策も模索していかねばならないと認識している。

観光交流

男女共同参画

幅広い分野で地域おこし協力隊を活用するのは良いことだと思いますが、町民をどのように巻き込んでいくかが大切だと思います。インバウンドが戻ってきたので、おもてなしの機運を高めるために、学校だけではなく大人も外国人と触れ合う機会を作って欲しいです。

まちの声



Café YAMAICHI
齊藤 恵さん

町政・教育執行方針を問う！！

続き

泥流地帯映画化

執行方針概要

ふるさと納税による財源調達や泥流地帯映画化を進める会を中心とした機運醸成やロケ支援等に引き続き取り組んでいく。



林議員

Q. 泥流地帯映画化を進める会を中心とした機運醸成のために、令和6年度はどのような取り組みを考えているのか。

A. 町長 映画化を進める会の方々の、会に入っていない方も含めて、町民の皆様の後押しが必要だと考えている。

執行方針の詳しい内容は
こちらから



教育行政執行方針



町政執行方針

あなたの注目事業は？

令和6年度 予算特別委員会

新年度の注目事業はこれだ！

期待どおりの成果が見込めるがしっかり検証！！

それぞれの議員が、新年度の注目する事業・施策等について本会議や予算特別委員会の審議の中で熱心に質疑を行いました。提案された予算額や事業内容が、住民のためになる予算であり、公平・公正であるかを確認した上で議決に至りました。

令和6年度の行政サービスが町民の皆さんの福祉向上に大いに役立つことを心から期待するところです。



議長を除く 13 名の委員（議員）に、新年度の予算特別委員会で特に注目する3つの事業とポイントを聞きました。

<p>高齢者の健康寿命を延ばし、子育て環境を整え、誘客促進と経済活性化を図り「住み続けたい」「住んでみたい」まちづくりのための予算編成となっているか。長期的ビジョンにも注目。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①火葬場共同利用実施設計 ②地域おこし協力隊 ③ジオパーク拠点施設整備 	<p>佐藤大輔議員</p>
<p>全国の自治体が、能登半島地震を受けて、防災対策の強化を行っている。当町においても避難所等の運営に資する防災資機材の備蓄を計画的に行っているが、新たな資機材の検討や見直しの必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①防災対策 ②郷土館改修事業 ③新こどもセンター整備事業 	<p>荒生博一議員</p>
<p>「泥流地帯」映画化の進捗状況を見守りつつ、上富良野町にもたらす影響を、ジオパークや地域おこし協力隊事業も合わせて見ていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①ジオパーク ②泥流地帯 ③地域おこし協力隊 	<p>湯川千悦子議員</p>
<p>こども園では保育士不足の影響で、基準以上の保育士の配置をしなければ適切な保育ができない実態にも関わらず、保育士の確保ができない状態にある。自治体としてのこども園への支援策が求められている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①保育事業雇用対策 ②農業後継者対策 ③教育支援不登校対策 	<p>米澤義英議員</p>
<p>アフターコロナとして、上富良野町の経済が活力を取り戻すための政策や、将来の子どもたちへの予算が正しく反映されているのか厳しく慎重審議したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①ジオパーク ②新こどもセンター ③商工振興 	<p>金子益三議員</p>
<p>今、令和5年度のラベンダーハイツ事業特別会計予算の収支が赤字になることが懸念されている。ラベンダーハイツの場当たりの運営は限界にきていると考えるため、早急に今後 10 年間の経営計画が策定されることを強く望む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①特別養護老人ホームラベンダーハイツの経営 ②泥流地帯の映画化事業の進め方 ③地域おこし協力隊 	<p>林敬永議員</p>

令和6年度の主要な事業など

- 【議会費】 総務産建・厚生文教常任委員会道外行政調査 2,520 千円
- 【総務費】 地域おこし協力隊管理費 41,236 千円 / 文書管理デジタル化整備 21,560 千円 / 予約型乗合タクシー運行委託 9,642 千円 (拡充) / 町長選挙費 7,676 千円
- 【民生費】 新こどもセンター整備事業費 (外構工事外) 103,394 千円 / ラベンダーハイツ事業特別会計操出 68,465 千円 / 後期高齢者医療特別会計操出 61,942 千円 / 介護保険事業特別会計操出 197,492 千円
- 【衛生費】 国民健康保険特別会計操出 117,643 千円 / こども医療費給付 46,000 千円 (拡充) / 一般廃棄物処理基本計画策定業務 5,665 千円 (新規) / 火葬場共同利用負担 3,500 千円 (新規) / 焼却施設CO、O₂ 分析器修繕等 38,940 千円 (新規) / 不燃ごみ処理負担 6,136 千円 (新規) / 飲料水供給施設管理 (中の沢水道施設更新工事設計業務 32,000 千円、旭野地区飲料水供給施設電気計装施設更新工事 6,270 千円)
- 【農林業費】 特産農作物支援 26,000 千円 / 農業後継者対策費 5,000 千円
- 【商工費】 深山峠地区展望台解体工事実施設計 1,700 千円 (新規) / 吹上温泉保養センターテラス改修 1,300 千円 (新規)
- 【土木費】 公園費一般管理費 島津公園整備等 11,420 千円 (新規)
- 【教育費】 郷土館改修事業 5,410 千円

 <p>茶谷 朋弘 議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①新こどもセンター新設 ②郷土館改修 ③地域おこし協力隊 	<p>コロナが5類に移行され、新こどもセンター新設、郷土館改修、町立病院建設等生活に身近な大きな事業が動いていく中、魅力のあるまちづくりへ本当に向かっているか見極めていきたい。</p>
 <p>中瀬 実 議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①農業後継者対策費 ②観光スポットの安全対策 ③公共施設の改修対策 	<p>基幹産業農業を守るための後継者対策費は十分か。コロナが落ち着き観光客が増加、安全対策に予算を。公共施設老朽化対策、計画的に実施を。</p>
 <p>島田 政志 議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①新たな農地整備事業の着手 ②地域おこし協力隊の農業担い手対策 ③予約型乗合タクシー料金一律化 	<p>上富良野の特産農作物推奨は大切。担い手確保のため、地域おこし協力隊が健やかに育っていただくことを願う。</p>
 <p>井村 悦丈 議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①新こどもセンター ②地域おこし協力隊 ③新規就農・担い手対策 	<p>子育てに関わる一体的な支援を行い、子どもと家族がこの町で安心して暮らすことができることを期待する。 各分野の地域おこし協力隊の皆さんの活動で、町の活性化が図られることを期待し、将来定住・定着されることを期待する。</p>
 <p>北條 隆男 議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①火葬場共同利用負担 ②「泥流地帯」映画化事業 ③ラベンダーハイツ事業特別会計 	<p>中富良野西山火葬場改修費用と今後の負担割合は。映画化に向けた町民の盛り上がりがあり感じられない。映画化を進める会の活動内容は？ラベンダーハイツの今後の運営方針に注目。</p>
 <p>小林 啓太 議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①介護に係る事業全般 ②ふるさと納税 ③地域おこし協力隊 	<p>先進的な町では介護施設が魅力的な町づくりの一躍を担っている事例もある。ラベンダーハイツの経営改善と今後の計画の策定を町づくりの一環として広い視点で前向きに取り組んでほしい。</p>
 <p>岡本 康裕 議員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①火葬場 ②映画化 ③日本酒醸造 	<p>第3次商工業振興計画、第3次観光振興計画に沿った行政が行われるか注目。にぎわいを取り戻せるか!?</p>

どう使われる？

令和6年度予算

365

の質疑

4日間に及びる新年度予算の質疑では、議員から町のあらゆる事業に対して質問が上がり、限られた予算が適正に計画、執行がされるよう議論を行いました。ここでは質疑の一部を紹介します。

一般会計

2款 総務費

- Q. ふるさと納税に関わる新たな取り組みはあるか。
- A. ふるさと納税の寄附向上のためポータルサイトの数を2つ増やす他、新たな返礼品の開発を考えている。
- Q. 寄附者とその後の関わりとして考えていることはあるか。
- A. 継続して寄附していただけるようダイレクトメールを送るなど関係をつくっていききたい。

Q. 今年は新たに図書館支援専門員を地域おこし協力隊として採用の計画を立てているがどのようなことをしていくのか？

A. これまで町の図書館にいなかった図書館司書として、本の選択や読み聞かせ等の様々な図書館事業の他、各学校とも連携し町の図書館事業を充実させていく役割を担ってもらう。

Q. 令和7年度の日本シオパーク全国大会に向けた準備は予算に組み込まれているのか？

A. 全国大会で活用する映像をつくる予算を計上している。

Q. 一部の箇所防災無線が鳴らない現象が起こっているが原因は何か？

A. 電化製品等から発する電波による妨害や障害物による妨害等が主な原因と考えられる。職員が対応し、それでも直らない場合は業者をお願いをする。

Q. 現在配布されている防災ガイドブックにミサイルが来た際の対応やJアラートの対応は掲載されているか？

A. 現在ミサイルが来たときの訓練などの対応は取り組めていない状況。今後駐屯地と調整をしながら周知していきたい。

Q. 泥流地帯映画化の制作費用はどの程度になるのか？

A. いつスタートしてどのような規模になるかはこれから順次決まっていくものであり、今後増えていく可能性はある。

Q. 大正の噴火から100年の2026年公開に目掛けて1年間月日を費やした中で映画化事業そのもののビジョンが描けていないが。

A. この一年をかけてロケ地をめぐりシナリオを作ってきた。その企画書を持って制作委員会を組成するために活動しているところであり、一歩ずつ進んでいると感じている。25年撮影、26年公開に向けて努力していく。



3款 民生費

Q. 東児童館解体費用の中にアスベストに関する経費は含まれているか。

A. 含まれている。

Q. 現状のままだと傾斜があり水が建物に流れ下ってしまうがどうするのか。

A. 地盤を下げフラットにし建物内に入らないような設計で工事していく。

Q. 外構工事、東児童館解体完了の用途は。

A. 児童館解体が令和6年8月、外構工事が12月目途ということで打ち合わせをしている。

4款 衛生費

- Q 保育所等における、性被害防止対策に係る設備等支援事業費の内容は。
- A 保育所等における、子どもの性被害がテレビ等で報じられている中、国等の補助金を用いた予算計上をしている。カメラやパーティションの設置に補助される。
- Q 子どもの発達支援に関する専門員整備事業はどのような内容か。
- A 年6回ほど北海道療育園から専門スタッフ、言語聴覚士、作業療法士の派遣を受け保育所や子どもセンター等を巡回し、障害の早期発見・早期対応のための助言を頂いている。来年度は7回の希望を出している。
- Q 出産子育て応援給付金はどのようなものか。
- A 出生届を出されたとき5万円、出産されたとき5万円、一人あたりの出産につき10万円の補助を行っている。対象人数は70人を予定している。
- Q がん予防検診について、膵臓がんは罹患されにくくなる方が増えているが、町として対応の考えは。
- A がん検診の中に膵臓がんは含まれていない国の見解を注視する。死亡率が減少するという科学的根拠が認められれば検診の項目に入れることは可能だが、現在の対応は、特定検診のオプションとして検診を受けることは可能としている。

6款 農林業費

- Q 配食や除雪等の地域支援事業のサービス利用料が引き上がると聞いているが、利用者負担は増えるのか。
- A 人件費高騰のため委託料は上がっているが、利用者負担については検討課題ということと据え置きとなっている。
- Q 中富良野町と共同利用する火葬場の電気工事費は全て上富良野町の負担なのか。
- A 上富良野町が新たに利用することにより、工事が必要になるためこの工事に関しては全て上富良野町負担になる。今後にかかる修繕費や運営費の割合は一定のルールの中で応じていく。
- Q 有害鳥獣対策の中でヒグマ対策とあるが、具体的にどのようなことを行っているか？
- A 近年増えている熊の出没に合わせて新たな費用として熊の箱罠、監視カメラ、撃退スプレー等を予算に計上している。
- Q 猟友会から補助金が足りないという声が上がっているがどうか？
- A 猟友会からの要望もあり、駆除費用を千円値上げし、計上する予定。ただ、パトロールにかかる費用は出していないほか、処分費用でも苦勞されているということで今後も検討していきたい。

7款 商工費

- Q 農業後継者対策という形で予算が計上されているが内容は？
- A 国と合わせた経営移譲に対する補助の他に町独自の事業として緑峰高校専攻科や農業大学校への就学支援、後継者・新規就農者に対する住宅支援、研修の受け入れ先農家に対しての支援がある。
- 有害鳥獣駆除に手厚い支援を
物価高騰等により様々な部分で掛かる費用が増えている他、今後の担い手不足も懸念される。駆除依頼は増えているのにこのままでは本当に大変なことに…早急に対策を！
- まちの声
- Q 新規開業・特産品開発事業補助費の対象の拡大、幅出しのような展開は考えているか？
- A 現在も様々なものに補助をしてきているが、今後は関係機関、商工会などからも意見を聞きながら制度のあり方を前向きに検討していきたい。



猟友会
佐々木 清美さん

7款 商工費

Q. 新規開業後うまく経営がいかないお店も見られるが、補助をしたあとの経営サポートのような考えはあるか？

A. 補助側として3年間営業をしつかりやっているかの追跡はしているが、経営の安定化等に関しては、商工会や金融機関の経営指導に委ねている。今後も金融機関、商工会の役割に町もサポートできるように繋げていきたい。

夢の実現を後押し

転勤から上富良野町に移住したことがきっかけでこの町を好きになり、ずっとこの町で生活するために考えた結果が店舗を経営することでした。資金面については特に不安があったのでまちの補助金制度は金銭的にも精神的にもとても助けになりました。ありがとうございました！

まちの声



4月6日にオープンした「KAMIHOTARU」店主 小林 敏樹さん

Q. 昨年はラベンダーフェスタに出店の際、地元食材を使用する決まりがあったが、もっと自由に出店できるようにならないか。

A. 出店の門戸が広げられるよう運営委員会の方で検討していきたい。

Q. 上富良野十勝岳観光協会運営費の中で、昨年度に比べ協会運営補助が約400万円増額となっているがこの要因は？

A. 大きな要因として、全国の書店で扱われている地球の歩き方（世界旅行をメインとした観光ガイド本）の上富良野版を観光パンフレットとして制作するため予算を計上している。

8款 土木費

Q. 橋梁長寿命化計画について、令和6年度の事業内容は。

A. 町においては現在112橋あるが、計画の対象となっているのは36橋で、令和5年度現在で12橋が完了している。

Q. 公営住宅に設置されているクッキングヒーター修理についての対応は。

A. クッキングヒーターや電気温水器などの修理について、修理できるものは修理しているが、取り換えをしなければならぬものが多くなってきている。

9款 教育費

Q. 郷土館の施設整備について、十勝岳ジオパークの拠点施設の役割があるが、今後の整備については。

A. 1階の十勝岳ジオパークの展示室をさらに充実させ、展示に重点を置く。また建設から46年経過しているため、トイレについても修繕が必要であり、令和7年度に計画を検討していきたいと思う。郷土館は十勝岳ジオパークの拠点施設となっていることから、令和5年度から臨時的に土曜日曜祝日に開館している。

介護保険特別会計

Q. 介護サービス給付費の算定について、この給付については介護保険料の算定の基礎にもなっていると思う。令和6年度からの3年間大きな変動がないとみられるが、これは現状を踏まえた妥当な金額なのか。また、物価高の影響からも加入者の方々が大変な負担を求められる状況になっている。このことから介護保険料については基金や一般会計からの繰入を活用しながら、保険料全体を引き下げることが可能ではないかと思うが。

A. これまでの3か年は、コロナ禍の影響もあり介護サービスの利用が減っている。コロナ禍前の平均的な利用給付、給付額等を換算している。一般会計からのさらなる繰入は考えていない。

ラベンダーハイツ事業特別会計

Q 施設の老朽化に伴う中、経営についても色々
と課題もあると思うが、今後のラベンダー
ハイツのあり方全般に対して、何らかの方
向性を見出そうとしているのか。

A 施設の老朽化以外にも色々な課題があると
思う。サービスを必要とする方の推移等も
勘案しながら、早急にまとめて決めていき
たい。

Q ラベンダーハイツの将来像をどのように考
えているのか。

A 高齢者の数やサービスを必要とする方が急
激に減ることはないと考え。そのうえで、
町として施設をどうするのかを考えてい
なければならぬ。施設も老朽化している
ことから大規模改修を含めて、今後早急に
決めていかなければと考える。



討論

― 一般会計 ―

反対 (米澤議員)

物価の高騰は町民の暮らしや経済などにも悪
影響を及ぼしている。

国の勤労統計調査でも実質賃金が物価高騰に
まだまだ追いついていない、かけ離れていると
述べている。

いま自治体がすべきことは物価高騰などに苦
しんでいる町民の生活を支えることであり、泥
流地帯の映画化を進めることではないと考える。

映画化を地域の賑わいや観光に結びつけたいと
述べているが、そうであれば一過性の映画化よ
り、観光振興の具体化と充実で多くの人が町に
訪れるような仕組みづくりをして地域経済の底
上げを図ることに努められたい。

また、移住定住の充実、協力隊の活用、子ど
もの医療費無料化は評価できるが、保育関係の
費用負担軽減、保育士確保のための支援、農業
後継者への支援策の充実、職員の人員確保等、
まだまだ持続的なまちづくりのための政策が必
要だと考える。

以上のことから、行政が優先すべきことは映
画製作ではなく、町民に寄り添い住民の暮らし
を支えることであると考えることから、一般会
計予算に反対とする。

賛成 (小林議員)

一般会計の予算に関しては、かねてから議会
からの要望が多かった「高校生までの医療費無
償化」「乗り合いタクシー料金の均一化」など、
新たな施策も盛り込まれている。また、近年活
用が進んでいる地域おこし協力隊の新たな採
用などの計画についても一定評価できる部分
があると思う。ただ行政課題というのは、終わ
りのないテーマであり、町長に意見書でお伝え
した内容等を含め、現状の計画に満足すること
なく、時流の変化等に対応し、今後さらなる住
民生活の向上を目指した行政運営を、令和6年
度も期待するものである。

以上のことから一般会計予算に賛成とする。



討論

— 介護保険特別会計 —

反対
(米澤議員)

介護保険料は介護保険制度の見直しことに引き上げられ、被保険者の負担は所得に依じてとなつているが、利用料などの負担、物価高騰による負担などを考えれば限界を超えている。町民の限度を超えた介護保険料の負担で賄われていることは容認できない。だからこそ、財調の取り崩しなどをし、一般会計からの繰り入れを行うなど保険料の据え置きを行い、歳入構成の見直しを行う必要があると考える。また問題は、国の公費負担の引き上げを行われなければ保険者と被保険者への負担は今後も限りなく行われ根本的な制度の見直しが必要である。

介護保険制度は、誰もが加齢に伴って生ずる心身の変化により要介護が必要になったときに安心して介護が受けられる社会保障制度である。しかし現状は、度重なる制度の改悪が行われ、入所施設により給食費や居室利用においては負担が求められ、利用料においても所得に応じて負担が求められている状況にあり、安心して介護が受けられない状況にある。安心して介護が受けられる制度充実を求め、介護保険特別会計に反対する。

ほか、島田議員が反対討論を行いました。

賛成
(荒生議員)

介護保険料の算定に当たっては、令和6年度から令和8年度までの3年間の標準給付費見込額及び地域支援事業費見込額等を差し引いた額が保険料収納必要額となり、保険料基準額(月額)が、本来5千597円となることを、介護保険特別会計基金を2千万円取り崩し、保険料の低減に取り組み5千400円としたことを評価する。今回提案された介護保険料基準額(月額)5千400円は、他市町村等と比較しても妥当な金額である。

また、現在の基金残高の5千万円から、今計画で2千万円の基金を取り崩したことにより、更なる取り崩しを行い介護保険料の低減を図るという考えも理解できなくはないが、今後3年間の計画期間内において、伸びていくであろう給付サービス、施設サービスに備える必要と、第2号被保険者の減少等による収入減が見込まれる中においては、介護保険事業の安定運営を図るため、基金残高の3千万円は保持したいとの考えのもとで今期の介護保険料を算出していることに対しても、概ね理解できるものと考えるところから、介護保険特別会計予算に賛成とする。

ほか、林議員が賛成討論を行いました。

4日間に渡る新年度予算に対する質疑の後、2分科会に分かれ意見を調整し、町長へ意見書を出しました。その意見書への所信を確認したのち、委員長を除く12名の委員で新年度の予算案に対して賛否の評決を行いました。

意見書

【一般会計】

1. 複雑化する行政ニーズに対応すべく、幅広い人材を募集するために、更なる地域おこし協力隊の制度を活用されたい。
2. ジオパークについて、令和7年度再認定に向け、拠点施設整備及び事業の充実を図られたい。
3. 群発する自然災害に対応するため、防災資機材更新の準備を進められたい。

【ラベンダーハイツ事業特別会計】

1. ラベンダーハイツの健全経営に務めるとともに将来計画策定に早期着手されたい。

討論の詳細はこちら





議会 Pickup

定例会・臨時会の概要

町議会では、第1回臨時会が1月26日、第1回定例会が3月4日から15日、予算特別委員会が3月11日から14日までの会期で開かれました。

臨時会は、補正予算の議案が中心となり、いずれも可決されました。

定例会や予算特別委員会は、10名の議員が一般質問を行い、令和6年度予算及び町の条例の一部改正、基金の一部支消については、予算特別委員会に付託され、審議となりました。定例会の最終日に一般会計予算案が可決されました。その他、意見書や補正予算、条例改正等を審議し原案のとおり可決されました。

臨時会

臨時会に提出された主な議案は、

- ・こども、子育て支援事業、物価高騰に対し、約800万円、大雪対策に伴う除排雪に約7千400万円、資材高騰による町立病院建て替えの予算約6億円の補正が可決されました。
- ・B&G海洋センタープール上屋シート、学校給食センター調理配膳備品の取得の補正予算が可決されました。
- ・北24号道路改良舗装工事請負契約の締結について可決されました。



定例会

第1回定例会では、直近3か月の行政報告、各会計の補正予算、9件の条例改正、令和6年度予算の概要説明、町長と教育長による執行方針など、多くの議案が審議されました。

行政報告では、十勝岳噴火総合防災訓練について、自衛隊・基地対策関

係、冬の観光イベントの開催状況、一般廃棄物処理の共同利用について、新型コロナウイルスの接種状況や令和6年二十歳の集いなどについて報告されました。

補正予算に関しては、一般会計及び5つの特別会計・2つの企業会計について審議され、中でも

ラベンダーハイツの収支不足による一般会計からの繰り入れや上富良野小学校のエアコン設置に伴う予算が可決されました。

他には、議員派遣結果報告（富良野沿線市町村議会と議会懇談会）が行われました。

条例

第1回定例会において上程された9件の条例の一部改正の主な内容については、介護保険料が5千200円から5千400円に改正、医療費の助成が高校生までになったことが主な内容となります。

少子高齢化を迎え、若年代に対する医療費の助成について非常に良いことと思われま。これからも議会において、色々な案件について審議されることをお願いいたします。

まちの声



村上 登さん

富良野広域連合議会

第1回定例会

令和6年第1回富良野広域連合議会定例会が2月20日に開催され、連合長から行政執行方針が述べられたほか、補正予算及び新年度予算案の改正が原案のとおり可決されました。

令和6年度一般会計予算は、歳入歳出総額それぞれ25億942万円（前年度比1億4千519万5千円増）となりました。

上富良野のここが聞きたい!!

10名の議員が町政を問う

一般質問とは、年4回の定例会において議員が住民の声や自身の考えなどから、町政全般にわたって執行者の考えをたずめます。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。

詳細は後日、行政ホームページに会議録を掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができます。ぜひ、議場へお越しください。

 <p>小林 啓太 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① 観光振興について② 定住移住政策について③ 観光と定住移住に係る事業展開について	 <p>湯川 千悦子 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① 町民の防災対策への対応について② 夏のイベントのあり方について
 <p>米澤 義英 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① 防災対策について② 農業行政について③ 人口減少対策について④ パートナーシップ制度について⑤ 町立病院について	 <p>佐藤 大輔 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① ラベンダーフェスタ及びライトアップイベントについて
 <p>島田 政志 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① 町営住宅について② 旧教員住宅について	 <p>井村 悦丈 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① 高齢ドライバーの事故防止について② 带状疱疹のワクチン接種の補助について
 <p>荒生 博一 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① 上富良野町「ゼロカーボンシティ」宣言について② 防災対策について	 <p>金子 益三 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① ジオパークを活かした十勝岳観光の取り組みについて② 上富良野町役場機構改革の進捗について③ 旅費規程について
 <p>茶谷 朋弘 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① 上富良野町における受動喫煙対策について② 町のホームページとSNSの運用について	 <p>林 敬永 議員</p>	<ul style="list-style-type: none">① 上富良野町第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画書の策定について② 第3次上富良野町商工業振興計画の策定について

※一般質問のページは質問議員本人により編集されています。

防災

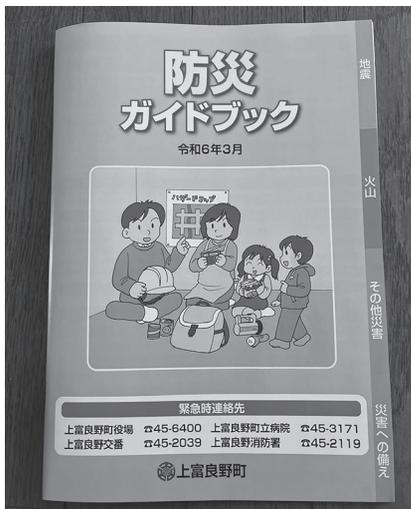
町民の防災対策への対応は

町長一住民に対し防災意識高揚を図っていく

湯川議員 町は他の自治体に先んじて、住民会に防災士養成に補助金を出



湯川 千悦子 議員



昨年度末に全戸配布された防災ガイドブック

湯川議員 十勝岳防災訓練は、毎年2月に行われ、一般職員も緊急時に対応出来るための訓練を行い、有事に備えることが肝要と考えるが、いかがか。

湯川議員 十勝岳防災訓練は、毎年2月に行われ、一般職員も緊急時に対応出来るための訓練を行い、有事に備えることが肝要と考えるが、いかがか。

湯川議員 十勝岳防災訓練は、毎年2月に行われ、一般職員も緊急時に対応出来るための訓練を行い、有事に備えることが肝要と考えるが、いかがか。

湯川議員 十勝岳防災訓練は、毎年2月に行われ、一般職員も緊急時に対応出来るための訓練を行い、有事に備えることが肝要と考えるが、いかがか。

湯川議員 町は他の自治体に先んじて、住民会に防災士養成に補助金を出

ひとくちメモ
防災士とは：「自助・共助・協働」を原則として、社会の様々な場で防災力が期待され、そのための十分な知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した資格で、年齢・性別・学歴等の制限はなく、誰でも取得できる。



湯川議員 過去のラベンダー祭りや花と炎の四季彩祭りでは町民の皆さんが参加できるイベントとして、地元住民の憩いの場でもあった。今後の対

湯川議員 過去のラベンダー祭りや花と炎の四季彩祭りでは町民の皆さんが参加できるイベントとして、地元住民の憩いの場でもあった。今後の対

湯川議員 過去のラベンダー祭りや花と炎の四季彩祭りでは町民の皆さんが参加できるイベントとして、地元住民の憩いの場でもあった。今後の対

湯川議員 過去のラベンダー祭りや花と炎の四季彩祭りでは町民の皆さんが参加できるイベントとして、地元住民の憩いの場でもあった。今後の対

湯川議員 過去のラベンダー祭りや花と炎の四季彩祭りでは町民の皆さんが参加できるイベントとして、地元住民の憩いの場でもあった。今後の対

湯川議員 過去のラベンダー祭りや花と炎の四季彩祭りでは町民の皆さんが参加できるイベントとして、地元住民の憩いの場でもあった。今後の対

イベント

ラベンダーフェスタの将来像は

町長—まずは町民に定着するよう努力する

つぶやき…

スかなり行に
エは盛移野に
フろでに視
ーし政体にも
ンび行政も
ダび行主と
ラ伸び民
はは。民
ラ伸び民
はは。民
ラ伸び民
はは。民



佐藤 大輔 議員

佐藤議員 ラベンダーフェスタはコロナ禍で暫定的に開催され今に至る。今後も町のイベントとして継続していくのか。

音藤町長 これまで3回開催したが反響も大きい。今後も夏の一大イベントとして開催していく。

佐藤議員 ラベンダーフェスタは四季彩祭りの後継イベントだという事実を知らない町民が多い事あることに丁寧な説明が必要では。

音藤町長 町民に定着するようPRする。雇用のイベントや運営方法についても調査研究を行う。町民の認知度が上がるよう努力したい。

佐藤議員 例えば「町民限定の日」を設け、ライ



昨年は4年ぶりにステージイベントが開催された

トアップを体感しながらインパクトのある取り組みで町民に楽しんでもらい、認知度を上げてみてはどうか。

音藤町長 なかなか素晴らしいアイデアだと思う。そういうことも含めながら意見を聞いて、現状に満足することなく町民に

音藤町長 現在、町内経

PRしていきたい。

佐藤議員 イベントプランナーに業務を委託することで行政の弱点を補ってくれると思う。行政、商工会、観光協会の特性を十分に活かすことも可能になり、結果イベントの質が上がると思うが。

音藤町長 現在、町内経

済団体等と力を合わせて開催しているが、イベントプランナーに任せると、町内事業者との関わりがどうなるか調査研究しなければならない。当然予算もかかるが、反面スポンサーを探してくれるので今後検討したい。

佐藤議員 ラベンダーフェスタに訪れる観光客のおもてなしと安全対策の観点からも、日の出公園駐車場入口からパークゴルフ場交差点に歩道や路側帯を設置すべきでは。

音藤町長 歩道整備の必要な路線だと認識しているが、関係機関との協議や用地及び補償等の課題もあり、極めて難しい路線である。

佐藤議員 ラベンダー

フェスタを軸として、桜並木や紅葉など、四季折々の上富良野をライトアップで彩る新たなツアーズを展開する考えはないか。

音藤町長 ここ数年で紅葉や桜、クリスマスなどのライトアップを実施したが、経済効果、駐車場、観光客の取り込み方などを検討する必要がある。

佐藤議員 第6次総合計画（後期）には令和10年に観光客入込数75万人を目指すところがあるが具体的なビジョンは。

音藤町長 もちろん人数も大切だが経済効果も重要視したい。町内の経済団体とタイアップして、計画的かつ戦略的に考えていきたい。

ひとくちメモ

イベントプランナーとは…企画から開催までイベントを管理し、会場設営やパンフレットなどの制作物、音響や美術効果、宣伝やPRに至るまで、総合的にプロデュースする専門家。

事故
防止

高齢ドライバーの事故防止策は

町長一装置の購入に関して町独自の補助は考えていない

井村議員 年々増加傾向にある高齢ドライバーによる四輪車のブレーキ・アクセルの踏み間違いによる急発進事故が懸念されている。年齢別に事故割合をみると、65歳以上の高齢ドライバーのうち、特に75歳以上の高齢ドライバーの割合が高く、その傾向は10年前と変わらず、加齢の影響が運転能力の低下をもたらしていると考えられ、高齢ドライバーに特徴的な事故形態の一つと言える。運転免許証を保有する高齢者は、この10年間で約2倍に増え、今後も増加することが予想されている。このような事故を100%防げるわけではないが、衝突防止または被害軽減、



ペダル踏み間違い急発進抑制装置

歩行者の安全を守り、高齢者が安全に運転を継続して頂けるよう、ペダル踏み間違い急発進抑制装置の購入及び設置費の補助をわが町でも行っているかどうか。

井村議員 歩行者の安全を守り、高齢者が安全に運転を継続して頂けるよう、ペダル踏み間違い急発進抑制装置の購入及び設置費の補助制度については考えていない。



井村 悦丈 議員

井村議員 新型コロナウイルス感染症がら類に移行し、10か月が経過、新型コロナウイルス特別接種も令和6年3月まで無料を受けられ、これまでの日常が戻りつつある中、最近は病院内でも目にし、メディアでもよく带状疱疹という言葉をよく聞くようになっていく。带状疱疹ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあり、かなり高額なワクチンである。带状疱疹ワクチン接種にかかる費用の助成をどの声も多く聞く。

健康で健やかな生活を送ることは、年齢を重ねてから特に大切なことだから特に大切なことだ。

井村議員 新型コロナウイルス感染症がら類に移行し、10か月が経過、新型コロナウイルス特別接種も令和6年3月まで無料を受けられ、これまでの日常が戻りつつある中、最近は病院内でも目にし、メディアでもよく带状疱疹という言葉をよく聞くようになっていく。带状疱疹ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあり、かなり高額なワクチンである。带状疱疹ワクチン接種にかかる費用の助成をどの声も多く聞く。

井村議員 新型コロナウイルス感染症がら類に移行し、10か月が経過、新型コロナウイルス特別接種も令和6年3月まで無料を受けられ、これまでの日常が戻りつつある中、最近は病院内でも目にし、メディアでもよく带状疱疹という言葉をよく聞くようになっていく。带状疱疹ワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンがあり、かなり高額なワクチンである。带状疱疹ワクチン接種にかかる費用の助成をどの声も多く聞く。

ひとくちメモ
予防接種には、法律に基づいて市区町村が主体となって実施する定期接種と、希望者が各自で受ける任意接種がある。接種費用は定期接種は公費、任意接種は自己負担となる。

ジオ

ジオパークを活用して十勝岳を有名に

町長－全国大会誘致に向けて取り組む

金子議員 一昨年認定を受けた十勝岳ジオパークの活用でまちを元気にしていく考えは。

斉藤町長 令和7年に予定されている日本ジオパーク全国大会の開催地誘致に向けて美瑛町と協議を進めている。

金子議員 郷土館にある拠点施設の充実を図る必要があるが対応は。

斉藤町長 今年度はより分かりやすい解説と展示物の作成、床面への大縮尺地図の設置、顕微鏡や岩石試料など手に取って観察できる体験コーナーの設置など、新たな展示物を教育委員会と連携して作成する予定である。

金子議員 十勝岳温泉エリアの振興として、ガイド小屋等設置や民間との協働による観光振興への支援は。

斉藤町長 十勝岳温泉エリアは国立公園内にあり、新たな施設の建設は困難である。観光振興促進の事業として、ジオパーク

ガイドとの連携により十勝岳温泉やヌッカクシ火口のジオツアーを開催、アドベンチャートラベルの受入れや旅行代理店との連携、教育旅行の受入れの促進などを検討している。



令和4年1月認定を受けた十勝岳ジオパーク

つぶやき...
ジオパークな物盛り、りくとい
ジオ活用していく
十勝岳と身近な町
十勝を豊かにしたいですね。



金子 益三 議員

役場組織機構改革の進捗はどうなったか

金子議員 現在のスタッフ制に基づき検証を行い、運用をさらに改良すべく改変させたいとの意向があったが、その後どうなったか。

斉藤町長 今後の定年延長職員と再任用職員は、その経験や職責に違いはないが、主事発令のみではなく、中堅層等に配置する運用も検討すること。スタッフ制については、現行どおりとし、総括主幹・グループリーダー制度は、グループリーダーを廃止し、新たに、必要に応じて副主幹等を、行政組織規則に規定することが提案された。また、チーム編成とグループ

リーダーの選任に適切な編成が行われていない。協働・協業・サポート体制が取れていない。意思決定の迅速さによる明確な効果が感じられない。事務事業の分担・責任の明確さに欠ける。流動的な組織運営について、特に主査以下の職員の間で流動的と感じる人が少ないなど、多くが制度的な要因ではなく、属人的な要因による問題点として指摘された。

金子議員 属人化を標準化に改めないか。

斉藤町長 引き続き検討していきたい。

ひとくちメモ

ジオパークとは...大地を意味するジオと公園を意味するパークを組み合わせる言葉で、環境保全や教育活動、地域を元気にする活動も行っています。

商工業

第3次商工業振興計画の重点は

町長一前計画の課題を解決する内容

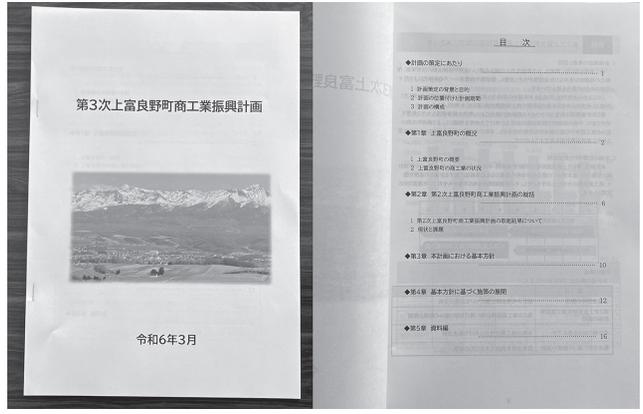
林議員 商工業等の取り巻く環境が、少子高齢化の著しい進展や経済活動の技術革新など社会情勢が大きく変動し、価値観や消費者ニーズの多様化により日々生活スタイルの変化も進んでいる。第3次計画の策定にあたり、本町の基盤となる産業推進について、町長はどのようにお考えか。

斉藤町長 第3次計画においては、大きく3つに区分し基本方針を定めた。1点目として「消費者ニーズの対応」、2点目として「町外の方の購買力の取り組み」、3点目として「創造性豊かなものづくりの推進」とし、さらにそれらの基本方針にそれぞれの施策を定

つぶやき…
少子高齢化社会において導かれることは、地域経済の縮小。町の商工業振興に力を入れないと町が衰退する。



林 敬永 議員



第3次商工業振興計画

め、令和10年度までの5か年で取り組んでいくことを計画としてまとめた。また、これまでに実施してきた新規開業、特産品開発の補助事業をはじめ、商工業者持続化補助、中小企業融資金利等補給事業や商工業振興補助として上富良野町商工会の運営補助などを継続して行い、当町の商工業の振興を図るよう新年度予算に計上しているところである。

斉藤町長 第9期計画は、介護予防と健康づくりの総合的な推進、認知症施策の推進、介護人材の確保と生産性の向上に向けた取り組み強化としている。

また、介護保険料については、介護保険事業の安定的な運営を推進するため、第1号被保険者の

ひとくちメモ

介護保険料は、介護保険法に基づき介護保険事業計画を元に算出されています。この計画は、3年ごとに見直すことが介護保険法に定められています。

林議員 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定中だが、この計画の中で、今後3年間の介護保険料基準額（月額）などが示されるが、計画策定にあたり、町長はどのようにお考えか。

斉藤町長 第9期計画は、介護保険事業基金があるため、基金を消費するなど様々な検討をした結果、この3年間で基金を2千万円支消することで保険料の軽減と介護保険会計の健全運営を図ることができると推察して介護保険料案を決定し、条例改正を上程するに至ったところである。

介護保険料の見直しを行う。試算にあたっては、当町における高齢者人口の見直しや要支援・要介護認定者数の見直し、次に保険給付費等を見込み3年間の合計額から第1号被保険者負担分の23%を算出し、さらに調整交付金影響額を差し引いて介護保険料を算出している。第9期においては、

観光
移住

シーズンステイ住宅の移住実績は

町長—現在までに移住実績はない

小林議員 以前の旧教員住宅を活用したお試し暮らしから、現在のシーズンステイ住宅になった経緯は。

音藤町長 旧教員住宅の老朽化によりお試し暮らしを終了し、令和2年よりシーズンステイ住宅事業として民間共同住宅の3戸で実施している。

小林議員 シーズンステイ住宅からの移住実績がないことについてはどう捉えているか。

音藤町長 実績がなくても上富良野に来て生活を体験してもらっているという効果はあり、ある程度の期間続けた方がいいと考える。

小林議員 移住政策としての効果としては限定的

つぶやき…

宿泊施設の空き部屋を生活体験の住処として使える仕組みがあれば、移住政策にもなって観光振興にも繋がると思ったのだが…



小林 啓太 議員



町内のお店で焼肉を楽しむインバウンドのスキー客たち

であり、継続には疑問があるが、何か他の案などもあるのか。

音藤町長 他の案が特にないので続けているという面もあり、よい案があれば修正を加えることも否定はしないが、長期間で来てもらうことは大切なポイントである。

小林議員 上富良野町は

冬季の集客に課題があるが、近年増加傾向のスキーを楽しむに訪日旅行者との相性は極めていいものと考えている。そこで移動のしやすさなどの課題に取り組んでほしいか。

音藤町長 公共がするこ

とビジネスで解決すべきことの線引きは難しい。不公平感があってはならない。

小林議員 例えば複数の宿泊事業者などが組織して、このような課題解決にあたる際などに町がバックアップすることは互いの利益にもつながると思うが。

音藤町長 まさにそういうことに関しては行政としても力添えをして町としての経済効果を増やしていきたいという思いは一致している。

小林議員 現状観光業は夏以外に課題がある。一方シーズンステイ住宅事業は現状では移住実績もなく、期間も最低1か月と使いづらい印象がある。

そこで、上富良野町での中長期の生活体験の場として、冬期間など空いている宿泊施設を活用することは事業者と利用者の双方にメリットがあると考えているが。

音藤町長 事業者と利用者で価格の折り合いが課題である。

小林議員 その点は当事者間の問題であり行政が心配することではない。現状実績のないシーズンステイ住宅の代替案がないのであれば最初のステップでも踏み出してほしいか。

音藤町長 冬期間であればまずはスキー客に泊ってもらえる方策が第一であり、空室を町で埋めるということとは難しい。

ひとくちメモ

近年富良野地域では小規模な宿泊施設や、空室や空き家を活用した民泊施設が急増している。直近3年で営業を開始した民泊施設は上富良野町が4件なのに対し、富良野市で46件、美瑛町では33件。

介護

介護職員を正職員として雇用を

町長一雇用形態を検討したい

齊藤町長 町立病院の常勤医師及び宿日直、専門外来の出張医については、旭川医大の各医局から派遣をいただいているが、今後の確約はされていない。引き続き、医局と良好な関係を保ち、医師の派遣をいただけるよう要

米澤議員 町立病院は、令和7年6月から新体制で運営される。その基本理念・基本方針は地域に信頼される病院づくりを職員と一体となり、安全で良質な医療・介護サービスの提供に努めるとされている。そのためには、医師・看護師・介護士の確保と充実が必要と考える。現在、介護職員は正規職員だが、正規職員として雇用すべきでは、

つぶやき…
入所者のケア体制の充実のためにも、介護医療院の非正規職員の待遇改善と正規雇用の転換が必要で



米澤 義英 議員



一般病棟と介護医療院が併設されている上富良野町立病院

米澤議員 町立病院は、令和7年6月から新体制で運営される。その基本理念・基本方針は地域に信頼される病院づくりを職員と一体となり、安全で良質な医療・介護サービスの提供に努めるとされている。そのためには、医師・看護師・介護士の確保と充実が必要と考える。現在、介護職員は正規職員だが、正規職員として雇用すべきでは、

齊藤町長 国内では、大都市を中心に要綱等によるパートナー制度が導入されている。近隣市町村では、旭川市と上川中部8町が連携し、パート

米澤議員 性的少数者のパートナー関係を自治体が認めるパートナーシップ制度を導入する市町村が391自治体に広がっている。近隣市町村では、旭川市、美瑛町、東川町、鷹栖町、愛別町で始まっている。以前にも質問をしたが、明確な答弁をもらうことができなかった。町長は、このような動きをどのように受け止め、今後、町としてどのように対応されるのか伺う。

ひとくちメモ
介護医療院とは…長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象とする施設で、要介護者に対し、同一施設内で医療と介護を一体的に提供できるのが特徴です。

米澤議員 パートナーシップ制度の導入を
米澤議員 性的少数者のパートナー関係を自治体が認めるパートナーシップ制度を導入する市町村が391自治体に広がっている。近隣市町村では、旭川市、美瑛町、東川町、鷹栖町、愛別町で始まっている。以前にも質問をしたが、明確な答弁をもらうことができなかった。町長は、このような動きをどのように受け止め、今後、町としてどのように対応されるのか伺う。

公営住宅

町営住宅の管理体制は

町長－公営住宅等長寿命化計画に基づき現状維持

つぶやき…

狐やアライグマの巣にならないように、美化・環境にも配慮が必要では？



島田 政志 議員

ひとくちメモ

公営住宅等長寿命化計画とは…公営住宅等の安全で快適な住まいを長期にわたって確保するための計画。点検の強化や早期の管理・修繕を通じて更新コストを削減し、長寿命化を促進する。

島田議員 町営住宅は、住宅困窮者・低所得者には無くてはならないものである。

現在の戸数と入居状況は。

斉藤町長 管理戸数は9団地389戸、入居数は295戸で75.8%となっている。

島田議員 老朽化している住宅の修繕等の状況は。

斉藤町長 公営住宅等長寿命化計画に基づき管理している。修理を手がけない「政策空き家」以外の住宅は、必要に応じて修繕を行いながら使用している。

島田議員 町営住宅の費用対効果は。

斉藤町長 公営住宅法に基づき、町営住宅は住宅に困窮する低所得者などに



使われていない旧教員住宅

に対し安い家賃で提供することから、建築費的な費用対効果を算出することは難しい。

島田議員 今後の解体、新築計画は。

斉藤町長 公営住宅長寿命化計画に基づき行う。

島田議員 長寿命化計画災害についての体制は。

に修繕対応と書かれていながら、修繕の期日が示されていないが。

佐藤副町長 計画によらず、日常的に壊れたり不都合が生じた場合は随時修繕する。

島田議員 地震やその他

斉藤町長 体制については、発生する災害により地域防災計画に基づいた対応を行う。また、空き家となっている町営住宅については、その災害の程度により応急仮設住宅として利用する。

旧教員住宅について

島田議員 旧教員住宅について東中地区・市街地区・江幌地区の戸数と入居状況は。

斉藤町長 旧教員住宅は、旭町26戸・泉町3戸・東中3戸・江幌2戸の計34戸となっている。コミュニティ住宅として使用しているのは、東中2戸・清富1戸の計3戸が入居している。なお、今年度、教育委員会から移管され

た東中にある1戸については、現在売却するか、コミュニティ住宅として活用するか検討している。

島田議員 空き家の旧教員住宅は草刈りをはじめ管理はどが行うか。

斉藤町長 空き家となっている企画商工観光課が所管しているコミュニティ住宅と総務課で管理している住宅及びその周辺は、敷地等を確認しながら、管理をしっかりとしていくよう努める。

島田議員 有害鳥獣や夏の虫など衛生面からも早期の解体をお願いしたい。

佐藤副町長 実際に有効活用していただける民間業者、地域の有効活用、財政を考慮しながら、対応しよう。

今後の取り組みについての考えは

町長ロードマップを検討し推進を強化していく

ゼロ
カーボン

荒生議員 2025年までに調査を実施している。また、現在建設中の町立病院整備事業では、地中熱を導入し、温室効果ガスの排出削減に寄与する整備を選択している。

荒生議員 上富良野町はこの間、どのような取り組みを行ってきたのか具体的に伺う。

音藤町長 町民や企業に対しては令和5年「住宅改修費助成事業」を拡充し、省エネルギー改修及び設備導入に対する補助の実施と、対象者へ直接「浄化槽システムの脱炭素化推進事業」の啓発を行ってきた。公共施設の省エネの取り組みについては公共施設のLED化を目指し、令和5年度に調査を実施している。

つぶやき…
能登半島地震発生後2月14・15日に十勝岳噴火総合防災訓練が行われたが、防災無線などで周知も無く本気度が感じられない。



荒生 博一 議員



新たに導入された電気自動車

で二酸化炭素排出量を実質ゼロにするために、どのような取り組みが必要と考えているのか伺う。

音藤町長 今後、上富良野町にとってどのようなものがカーボンニュートラルに向けて最善な取り組みになるかは、上富良野町だけでなく沿線市町村とも協力しながら研究を行い、ゼロカーボンシティの実現に向けた「ロードマップ」を検討し、推進を強化していきたい。

ひとくちメモ
ゼロカーボンシティとは…再生可能エネルギーによって稼働される都市であり、二酸化炭素排出量がなく、温室効果ガス排出において地球に害を及ぼすことはない都市である。

防災対策について

荒生議員 今回の能登半島地震を受け、町民の生命と財産を守る立場の町長はどのような学びがあったのか伺う。

音藤町長 この度の能登半島地震の発生及び被災状況を受けて、大規模災害は、いつ、どこで、どのような災害がどのような規模で発生するか予測不可能であり、被害についても道路の損壊による緊急車両の遅延や、孤立集落の救助・支援物資の困窮、また、長期における断水・停電等、想定外の事象が多々発生したことを受け、平素よりの災害に対する様々な備えが、減災に繋がることを改め

て認識した。

荒生議員 今後は地震などに備え、全町民を対象にした防災訓練の実施が必要と考えるが見解は。

音藤町長 十勝岳噴火総合防災訓練は、十勝岳火山防災協議会により関係機関と合わせ訓練を行っており、地域住民の参加については町内25の全住民会に訓練参加の案内をおこなっており、住民会ごとの判断により参加していただいている状況である。また、十勝岳噴火総合防災訓練による避難所開設運営訓練は火山噴火のみならず、地震や風水害などその他様々な災害に対しても実用性がある訓練であると認識している。

分煙

喫煙所設置についての考えは

町長 - 喫煙所設置は管理者の判断

茶谷議員 健康増進法の改正に伴い公共施設等の喫煙所が撤廃されたことにより、イベントで多くの人が利用する施設では路上に出て喫煙する人の集まりが目立っている。

これでは、以前より望まれない受動喫煙になりうる可能性が増えた気がするが喫煙所設置の予定は、

斉藤町長 設置は各施設管理者の判断によるが、そのような実態があるかどうか等事情を説明し受

動喫煙の防止に努めていきたい。

茶谷議員 受動喫煙を生じさせないために喫煙所を設置した場所はあるか。

斉藤町長 課長会議の結果、庁舎とラベンダーハウスに設置した。

つぶやき...

各のっ、効いて
もく吸て逆なっ
ら多を見がいが
かでコを廃てあ
者外バ姿撤っが
煙のたる所な声
喫設がい煙にとる。
非施入て喫果かい



茶谷 朋弘 議員



庁舎敷地内に設置された喫煙所

茶谷議員 総務省から税制改正法の中で屋外分煙

施設の整備を促すことが発表されたが町長の見解は。

斉藤町長 分煙に対して予算をつけるというのはあまり想像できない。喫

煙者がマナーを守れば非喫煙者との共存はできると思うので、行政が喫煙所を設ける必要性はないと考える。

ホームページとSNSの見直しを

茶谷議員 町のホームページに関してリニュー

アルの検討は。

斉藤町長 管理方法、経費を考慮しながら検討していきたい。

茶谷議員 ホームページやSNSは十分な効果は得られているか。

斉藤町長 簡単に判断しづらいが一定の効果が出ていると考えている。

茶谷議員 ホームページの平均アクセス数が上富

良野町379件に対して、上富良野市4千474件、美瑛町2千155件。フェイスブックのフォロワー数が上富

良野町586件に対し富良野市3千501、美瑛町4千610となっているがそれでも

十分な効果が出ていると言えるか。

斉藤町長 数だけ見ると

富良野、美瑛ともに多くて羨ましい。上富良野も

多くの方にアクセスしてもらえようしっかりとPRしていきたい。

茶谷議員 運営等を外部に委託する考えはないか。

斉藤町長 経費をかける優先順位は低く大きな経費を掛ける予定は今のところない。

茶谷議員 地域おこし協力隊の活用などSNSやホームページ運用の得意な人を募集、配置すればコストを抑えられると思うが。

斉藤町長 様々な方法が考えられるので、今後検討していきたい。

ひとくちメモ

健康増進法の改正により原則、公共施設は敷地内禁煙だが、受動喫煙を防止するための必要措置が取られた特定屋外喫煙場所の設置は可能となっている。



2月19日	厚生文教常任委員会
21日	総務産建常任委員会
22日	議会運営委員会
26日	全員協議会、議会広報特別委員会
27日	厚生文教常任委員会
3月4日	第1回定例会(1日目)
5日	第1回定例会(2日目)
7日	第1回定例会(3日目)
8日	議会運営委員会 厚生文教常任委員会 総務産建常任委員会 第1回定例会(4日目)
11日	予算特別委員会(1日目)
12日	予算特別委員会(2日目)
13日	予算特別委員会(3日目)
14日	予算特別委員会(4日目)
15日	第1回定例会(5日目)
18日	議会広報特別委員会 全員協議会
8日	議会広報特別委員会
15日	議会広報特別委員会
16日	総務産建常任委員会
15日	議会運営委員会
10日	議会広報特別委員会
15日	厚生文教常任委員会
16日	議会広報特別委員会
22日	総務産建常任委員会 議会運営委員会
4月8日	議会広報特別委員会

お詫びと訂正 議会だより第121号

去る2月9日に発行いたしました議会だより第121号のP.10「審議議案と議員の賛否」一覧表に誤りがございました。つきましては下記の通り訂正をさせていただきます。

今後、本会議や特別委員会における審議議案の賛否の掲載につきましては、一覧表による結果の掲載は取りやめ、議会だよりの中で審議の経過や討論などを含めた記事を掲載していきます。

この度は町民の皆様、関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

正誤	上程議案・結果 (賛成:○ 反対:× 欠:欠席 除:除斥)		結果	佐藤大輔	荒生博一	湯川千悦子	米澤義英	金子益三	林敬永	茶谷朋弘	中瀬実	島田政志	井村悦丈	北條隆男	小林啓太	岡本康裕
	【可決】…原案可決、承認可決、同意可決	【否決】…原案否決														
	【付託】…各委員会への付託															
第6回臨時会 (令和5年10月6日)																
上富良野町名誉町民の議決を決める件	可決	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×
第6回臨時会 (令和5年10月6日)																
上富良野町名誉町民の議決を決める件	可決	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×

編集後記

上富良野町の議会議員になって3回目の定例町議会を終えました。

今回は予算特別委員会も開催され、準備期間を含め約1か月間の長丁場の議会となりました。令和6年度の上富良野町の予算が決まる大事な議会で、新しい事業や継続事業、同僚議員が質問する事柄をできるだけ予算書に記録し、町民の生活・福祉の向上に向け執行できたか否かを審議できるよう今後も見守りたいと思っています。

新年度にあたり入進学の時を経て、子どもたちの成長を目の当たりにし、気の引き締まる思いでした。これからも皆さんの声を議会に届け、親しみやすい議会を目指します！

(湯川 記)

議会広報特別委員会

委員長	佐藤大輔
副委員長	井村悦丈
委員	湯川千悦子
	林敬永
	茶谷朋弘
	島田政志